



〒696-0222 島根県邑智郡邑南町下田所282-1
TEL・FAX (0855) 83-0518
IP電話 050-5207-4400 E-mail:tadokoro-k@town-ohnan.jp

(令和4年4月17日発行)

つながりを広げていく公民館に

館長 野田 義仁

我が家の勝手口で鳥のさえずりが聞こえたので、出て見ると2羽のツバメが昨年の秋に残しておいた古巣にとまっていました。東南アジアから気の遠くなるような距離を飛んで繁殖のため我が家に帰ってきました。



「よく帰って来たね。お帰り。」

身近で確実に春が来たのを感じるひとときでした。

さて、コロナ禍に入り3年目の昨年度、ハンザケまつりは開催できませんでしたが、その他の定例行事は参加人数削減、時間短縮など皆様にご協力頂きながら開催する事ができましたこと厚くお礼申し上げます。

ところで先日行われた研修の中で、人が育つ公民館は「ごっちゃ混ぜ」「雑多」な公民館が理想であり、世代・性別など問わず人が集まりつながりを広げていく公民館を目指す事が大切なのだを教えて頂きました。

今年度は今まで以上に、地域の皆さんの思いやアイデアを聞く機会を設けて、取り入れ見直しをしながら「参加してみたい」「参加してよかった」と感じて頂ける活動へと進めていきたいと思っております。

最後になりましたが、今年度も引き続き有井貞之(主事)、光田梨絵(事務)、三上登喜子(学校コーディネーター)、野田義仁(館長)の4人で皆様のお越しをお待ちしております。ウイズコロナの生活はまだ続きそうですが、基本的な感染予防に心がけながら田所地域を一緒に盛り上げていきましょう。

よろしく願いたします。



出羽氏の歴史と毛利氏との関わりについて

元俱(もととも)は幼名を鶴法師丸と言い、元服するときに元俱と名乗ることになります。

出羽郷から周辺に力を持っていた出羽氏の力は、元俱を迎えることでさらに大きく、確固とした力を持つことになりました。

そして毛利両川体制(毛利氏を中心に吉川元春が山陰方面、小早川隆景が山陽方面の軍事を担当)の中、出羽元祐は吉川元春の元で、毛利氏の石見支配の実現に向けて大きな力となる戦いを続けます。

出羽元祐は「主君(元就)の子(元俱)を養子に迎え、毛利一族となった。末代までこの地を守っていく」と家中に伝え、元俱を大切に育てました。

しかし、1571年に毛利元就が亡くなったのと同じ年に、生来の病弱であった元俱がなんと17歳の若さで二ツ山城城内で急死しました。

元俱を亡くした出羽元祐は責任を感じ、毛利元就の後継である毛利輝元(毛利隆元の子)に対して要らぬ誤解を受けぬように起請文を書いて毛利氏への忠誠を改めて誓いました。元祐はどのような処罰も受けるつもりではありませんでしたが、毛利輝元は元俱の死について何も追求することなく認め、出羽元祐の实质である出羽元勝が後継者となることを認めました。元俱の養子入りの後、出羽大方が男子である元勝を生んでいたのです。

出羽家中は安心したのと同時に、実子の元勝が後継になったことを喜びましたが、元俱を失ったことにより毛利一族との縁が薄くなってしまいました。

その後も出羽元勝は毛利氏重臣として活躍し、1589年には従五位下出雲守に任命され、秀吉から豊臣の姓を与えられるほど活躍し厚遇されました。

しかし毛利氏から外様の重臣扱いとなった出羽氏は、1591年に毛利輝元の命令で備後品治郡(広島県福山市)へ領地替えとなったことで、出羽郷を去ることとなり二ツ山城が廢城になります。

その後出羽郷を含む邑智郡の江の川以西は、元俱の弟の天野元政(元就七男)の領有となります。そして1600年に関ヶ原の戦いで西軍として参戦した出羽氏。西軍が負けると、西軍の総大将であった毛利輝元が領地を没収されることとなり、国替えとなった毛利氏に残されたのは周防と長門の2カ国のみでした。これに従い出羽氏も一緒に移り住み、萩藩の重臣として存続しました。 終わり

もし元俱が長生きしていたら、元俱に子供が生まれていたら、また関ヶ原の戦いで西軍が勝っていたらと色々想像するのも楽しいですね。

今年の秋には昨年出来なかった、出羽元俱が亡くなって四百五十年の記念イベントを計画中です。これからも、田所のシンボルである二ツ山の魅力を再発見していきますのでご期待ください!



第2講 楽しく体をほぐそう!

女性セミナー第2講「楽しく体をほぐそう!」を下記の日程で開催します。

講師の吉時鍼灸整骨院の三井奈穂子さん指導のもと、楽しく体をほぐしませんか? お問い合わせうえ、ご参加ください。

- 日 時 5月19日(木) 13:30~15:00
- 集合場所 田所公民館
- 内 容 体ほぐし、ツボ刺激など
- 参加費 300円程度(参加人数により変動)
- 持参品 運動靴・タオル・飲み物・マスク
ハンドタオル(ストレッチ用)
- 募集人数 先着15名
- 締切り 5月13日(金)

※詳細は、公民館へお問合せください。



平原のしだれ桜



中山の桜並木で記念撮影



川角の花桃は色鮮やかです

☆女性セミナー第一講☆ 桜・花めぐりをしよう!

4月7日(木)、田所公民館女性セミナー第一講「桜・花めぐりをしよう」を開催し、16名の参加がありました。

今年3年ぶりに1日かけての花めぐりとなり、ガイドに吉川正さんをお招きし、邑南町内の花の見所を教えてくださいました。

まずは、道明集落の若杉の里を見学させていただきました。庭には5月にかけてきれいに咲く花がたくさんありました。それから、日貫の樹齢三百五十年を超える平原のしだれ桜を見ました。続いて中野中山の桜並木や井原日向の花桃を散策しました。

お昼は口羽の宗林寺で豪華なお弁当をいただきました。帰り際に舞った桜吹雪には感動しました。それから、川角の花桃、戸河内のカタクリの花、金淵のコウヤミズキを見て帰路につきました。田所公民館に着いたときに雨に見舞われましたが、無事に花めぐりを終了することができました。

来年も計画しますので、興味のある方はぜひご参加くださいませ。



カタクリの花

久喜銀山学習の披露

瑞穂小学校6年生が12月に開催した銀山会議で久喜銀山遺跡を有名にする工夫を考え準備を続けました。

そして卒業式前の3月10日(木)に成果品を久喜銀山保全委員会へ贈るため除幕式が行われました。

コロナ禍で時間の無い中、看板、歌(歌詞)、ポスター、キーホルダーの作成に取り組み、看板は久喜銀山遺跡付近に、ポスターや歌詞は公民館や道の駅瑞穂に設置され、久喜銀山を有名にしたいという思いが伝わりました。

☆どがあずしよう会☆

3月の春の風で町道ニツ山線に杉の葉が降り積もっていたため、急遽4月10日(日)に道路清掃を行いました。

また、4月12日(火)には地域とともにある学校づくりの一環で瑞穂小学校の畑を耕すのをお手伝いしました。

三上会長が耕運機を持ち込み、あつという間に作業を終えました。美味しいじゃがいもを育ててくださいね!



手際よく畑を耕す三上会長

それから、どがあずしよう会ではロシアのウクライナ侵攻について考え、義援金での支援と千羽鶴を作成を取り組むことにしました。千羽鶴はウクライナの国旗の青色(空)と黄色(小麦畑)の2色で作成しますので、田所公民館に設置した折り紙で鶴を作成をお願いします。家で作られた他の色の折り鶴も受け付けています。

一日も早い戦争終結を願い、ウクライナの復興と平和をお祈りしたいと思います。

ご賛同いただける方は、田所公民館までお越しください。一次締切りは5月2日です。



田所公民館で受付けています

忘れ物の処分について

田所公民館では、傘や帽子、タオルやポーチ、保冷剤などの忘れ物を保管しています。5月末にすべて処分させていただきます。

今一度、事務所前の忘れ物箱や、玄関前の傘立てをご確認いただき、忘れ物があればお持ち帰りください。早めのご確認を、よろしくお願い致します。

—主な行事予定—

- 4月 -
- 23日(土) ふるさと探検隊(山菜を採りにいこう)
- 5月 -
- 7日(土) 春の自然観察会(若杉の里)
- 19日(木) 女性セミナー(体をほぐそう)
- 19日(木) さんむくクラブ 19:00~
- 22日(日) ニツ山整備(どがあずしよう会が中心に整備を行います。ご協力いただける方はご連絡ください)



主事のひとこと...「春の雲海」

3月24日(木)の朝早くにニツ山に登ると、ホトトギスの鳴き声を聞きながら一面の雲海を見ることができました。あれから雲海が出ないかと待っていますがチャンスがありません。もう一度春の雲海を見てみたいです。

田所地区の人口 (3月末)

男性	796人
女性	930人
合計	1726人
高齢化率	44.32%